

経腸栄養による下痢対策

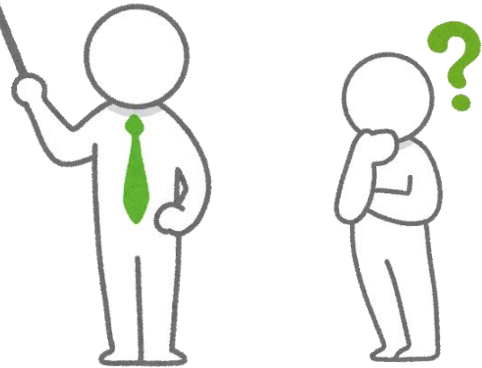
2017年2月22日(水)にNST勉強会を開催しました。

「経腸栄養の応用」として、経腸栄養による下痢の原因と対策を中心に話をしました。

下痢の原因を考えるポイント

- ・ 経腸栄養による下痢なのか？
- ・ 絨毛の萎縮？絶食期間は長かった？
- ・ 注入速度は速くないか？
- ・ いきなり大量に注入していないか？

薬剤による副作用や細菌による下痢なども確認しましょう。



経腸栄養による下痢の対策

- ・ 絶食が長期間続いていた場合は GFO を投与して、絨毛を復活させましょう。
- ・ 腸内環境を整えましょう。(シンバイオティクスの活用)
- ・ とろみ剤を使用することで、胃排出速度を遅くする効果が期待できます。
- ・ 経腸栄養ポンプやクレンメで投与速度を調整しましょう。
- ・ 経腸栄養開始時や製品を変更した際は、少量から開始しましょう。

NST活動は毎週火曜日 14:30 よりカンファレンスを実施し、その後ラウンドをおこなっています。
栄養についてお困りでしたら、いつでもご相談ください。